

熊野陽人・松尾信之介・嘉屋千紘・大沼勇人（2020）男子跳躍競技者におけるショートスプリントタイムとベンチプレス，パワークリーン，フルスクワットの最大挙上重量との関係．大阪体育学研究，第 59 号，12-22.

この度、令和 3 年度大阪体育学会奨励賞を頂くことができ、大変光栄に存じます。共同研究者の先生方に厚く御礼申し上げます。

本論文は、男子学生跳躍競技（陸上競技）者を対象に、ショートスプリント能力として 20m スプリントタイムと、ベンチプレス、パワークリーン、フルスクワットの最大挙上重量との関係性を明らかにすることを目的としました。検討の結果、男子学生跳躍競技者のショートスプリントにおいて、上肢の筋力が反映されるベンチプレスや、主にハムストリングスによる股関節伸展動作を用いるパワークリーンなどの力発揮能力よりも、大殿筋による股関節伸展力を反映していると考えられるフルスクワットのような力発揮能力が関係することが示唆されました。

私は陸上競技の跳躍種目のコーチとして、国内外でコーチングを行ってきて今年で 13 年目となります。常に“**Evidence-Based Coaching**”を心がけてきました。今回このような大変名誉のある賞をいただき、競技現場でのコーチングだけでなく、エビデンスを生み出す楽しさを改めて感じることができました。これからも理論と実践の懸け橋になれるような、コーチ、研究者でい続けようと思います。この度は本当にありがとうございました。